

苫小牧市長 岩倉 博文 様

## 米軍戦闘機の訓練移転の中止と自衛隊戦車等の公道走行中止を求める要請書

米軍戦闘機の訓練移転反対苫小牧実行委員会

苫小牧港の軍港化阻止実行委員会

実行委員長 横山 傑

【押印省略】

日頃のご精勤に敬意を表します。

さて、北海道防衛局は3日、在日米軍再編に伴う訓練移転の一環として米軍と航空自衛隊の日米共同訓練を今月下旬、千歳基地で行うことを明らかにしました。この訓練は2008年2月に始まり、10回目となります。

今回の訓練は嘉手納（沖縄県）、三沢（青森県）、岩国（山口県）の3米軍基地に所属する米空軍部隊と、空自第2航空団（千歳市）が参加し、戦闘機による訓練を行う、としています。

この訓練は沖縄県の基地負担軽減を名目としていますが、沖縄の嘉手納飛行場周辺自治体からは「基地負担の軽減の実感があるとは言い難い」と、何度となく繰り返されているのが実態です。

折しも、沖縄本島付近で飛行中だった米空軍嘉手納基地所属のF15 戦闘機から4日午前、金属製の重さ3.6kgの部品が落下し、防衛局への連絡は落下から半日経ってからだったといい、詳細は未だ不明のままです。

そして、3日午後には道内の余市・真狩では欠陥機といわれる米軍のオスプレイ3機が目撃され、4日午後には航空自衛隊千歳基地にオスプレイ2機が着陸し、いずれも事前連絡がなかったということです。このように、米軍の振る舞いは傍若無人なものとなっています。

在日米軍の新型コロナウイルス感染者は300名を超えているといえます。7月12日、米国から入国した米軍関係者3人は羽田空港でPCR検査を受け、結果判明まで待機や公共交通機関で移動しないよう求められていたにも拘わらず、検査結果を待たずに翌日民間機で岩国空港へ移動し、その後陽性と判明した、というとんでもない事態も起きています。

さらに、このような時期に陸上自衛隊第7師団は9月1日午後9時から苫小牧西港～千歳市東駐屯地の戦車等の公道自走訓練を発表しました。これは自衛隊北部方面隊の実動演習の一環で、戦車を含む装甲車11両、関連車両32両が前日釧路港発のフェリーで苫小牧港入りをするものです。私たちは平和な商業港である苫小牧港の軍事利用に強く反対します。戦車等が住民の寝静まる時間帯に公道を自走し、住宅街を通過することは住民に多大な不安と恐怖を与えることになり、相当な騒音も予想されることから中止するべきです。

以上、貴職に対し下記の項目を要請しますので8月22日までにご回答下さるよう要請します。

### 記

#### 1. 米軍戦闘機の訓練移転関係

- (1) 米軍戦闘機の10回目となる苫小牧上空を通過しての訓練は受け入れないこと。
- (2) 在日米軍の新型コロナウイルス感染者は300名を超えているようであるが、千歳市は隣町といえどもその実態が明確に示されるまでは米軍関係者の飛来については苫小牧市として反対すること。

#### 2. 戦車等の公道走行関係

- (1) 平和な商業港である苫小牧西港の軍事利用は認められない。市長は軍事利用反対の表明を行うこと。
- (2) 戦車等が住民の寝静まる時間帯に公道を自走し、住宅街を通過することは住民に多大な不安と恐怖を与えることになり、相当な騒音も予想されることから中止するよう申し入れること。